

平成26年度農業青年グループ等育成事業

事業実施主体（飛翔クラブ）

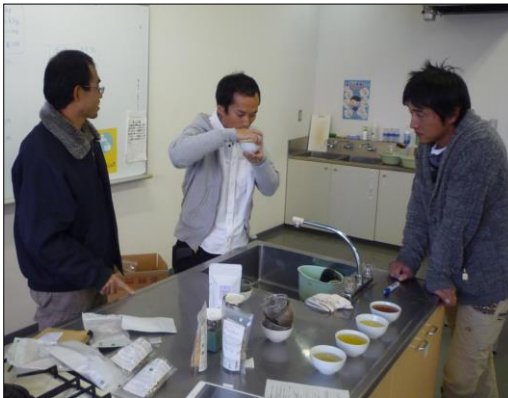
1 目的

クラブ員の約半分は茶農家であることから、霧島茶の消費拡大を目的に、地元霧島茶を使った6次産業化の取組みを模索する。

「茶の消費拡大」と「売れるお茶作り」の両観点から、ハーブを使ったフレーバーティに着目し、商品化と販売を目標に更なる取組みを実施し、今後の各クラブ員の農業経営に資する取組とする。

2 実施状況

ハーブを用いたフレーバーティの商品化を目指して、課題や問題点を検討しクラブ員で試飲をしながら、緑茶にブレンドするハーブの種類や割合について検討するとともに、4種類の商品とパッケージの改良を行った。これらの商品開発にあたり対面販売を行い、試飲した感想や価格などについてアンケート調査を行い、飲みやすさや茶の風味をいかしたり、認知度を高める必要性を感じ、消費者からの質問や意見などをまとめ、6次産業化するスキルアップが図られた。



3 今後の課題、取組み

このような取組みを通じ、今後の各クラブ員の農業経営の発展に生かしていく必要がある。